

5 - 1 東海地方の微小地震の分布(1985年5月1日～1985年10月31日)

Distribution of Microearthquakes in Tokai District

(May 1, 1985 - October 31, 1985)

名古屋大学 理学部

School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて1985年5月1日より1985年10月31日までの6ヵ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

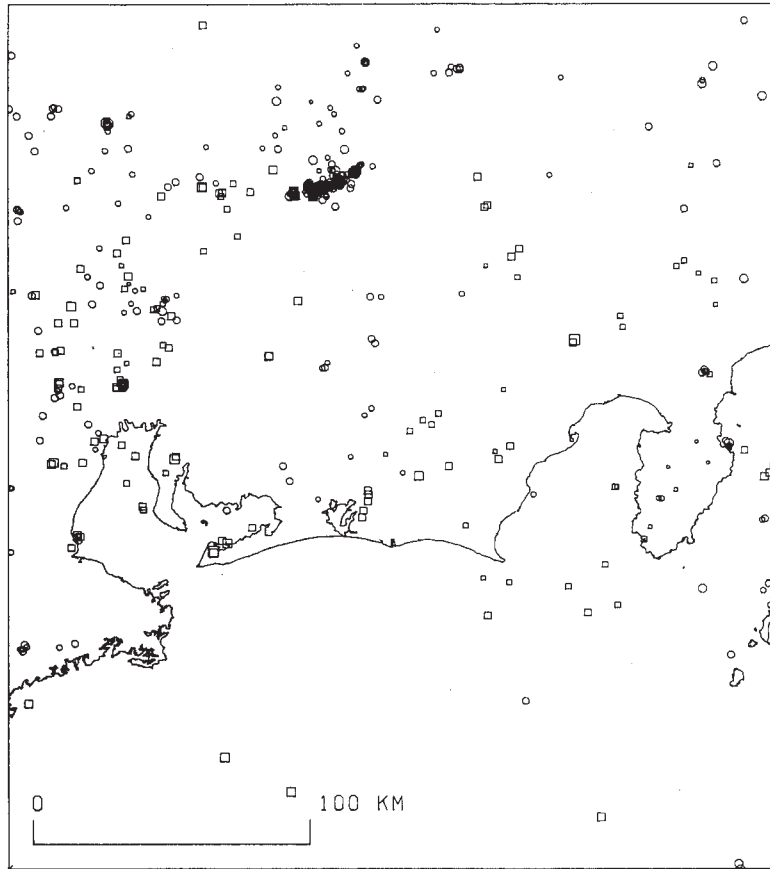
第1図に1985年5月1日より1985年10月31日までの6ヵ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km以浅に発生している地震の震央を3ヵ月ずつの期間に分けて示す。第2図は同じ期間に20kmから80kmの間の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) 王滝村付近に発生する長野県西部地震の余震は時間とともに活動が低下しているが、1985年7月25日に牧尾ダム付近でM3.8の地震が発生する等の余震活動が見られる。又、西側の岐阜県との県境付近もやや活発になっている。
- (2) 伊豆半島東方沖では1985年10月15日から海岸線付近で群発地震活動が続いている。
- (3) 浜名湖付近でM3クラスの地震活動がしばしば認められたほか、7月24日には伊良湖岬付近でM3.0を含む地震活動があった。
- (4) 上記以外の地域では特に際立った活動は見られなかった。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部；東海地方の微小地震の分布（1984年11月1日～1985年4月30日）
連絡会報, **34** (1985), 258 - 260

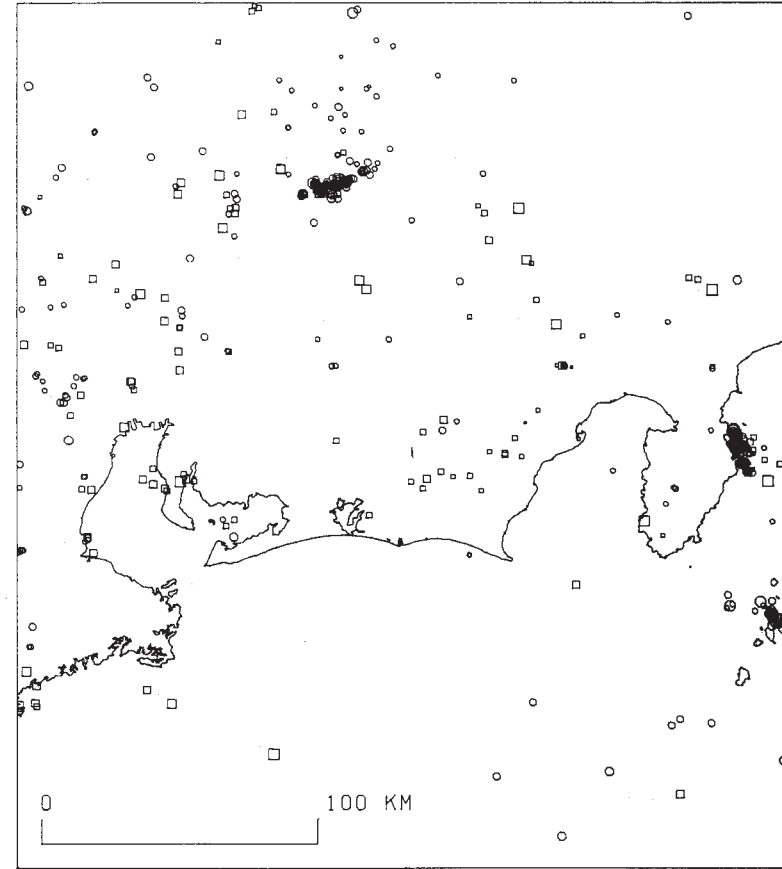


N = 510

DEPTH 0 10 20 KM
○ □

MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

1985 5 1 - 1985 7 31



N = 786

DEPTH 0 10 20 KM
○ □

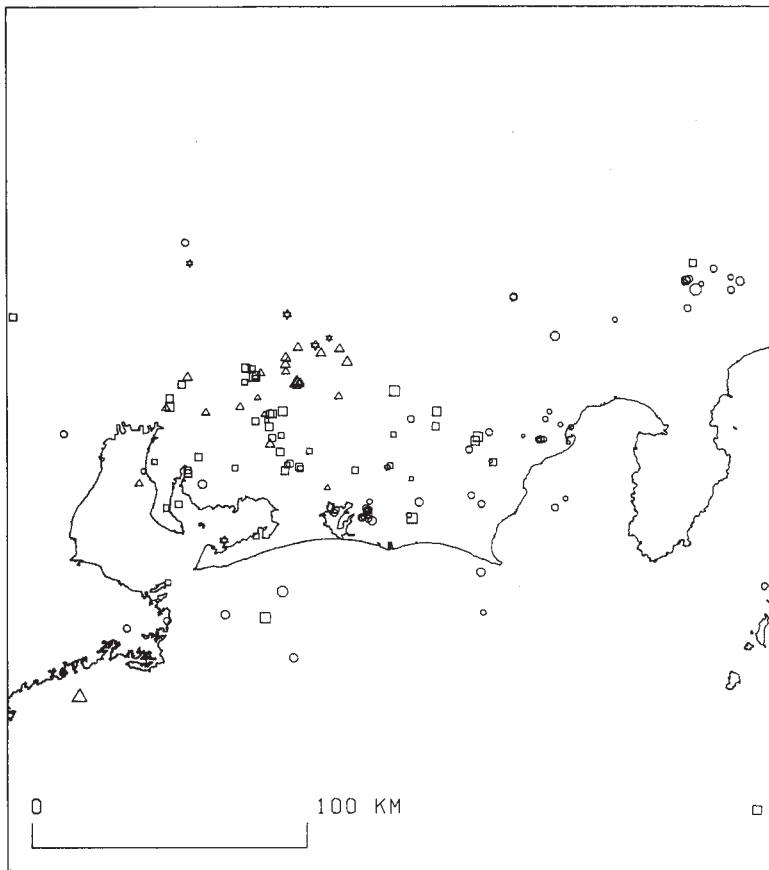
MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

1985 8 1 - 1985 10 31

(NAGOYA UNIV)

第1図 微小地震の分布 (1985年5月1日~1985年10月31日) 震源の深さが20km以浅のもの

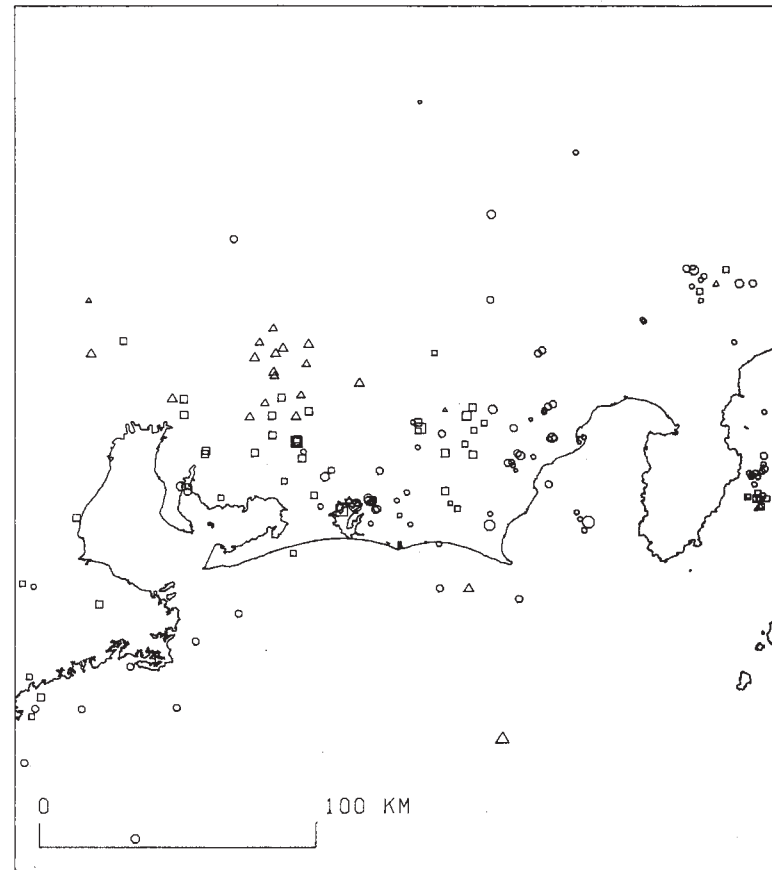
Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (May 1, 1985 - October 31, 1985) shallower than 20 km.



N = 140

DEPTH 20 30 40 50 80 KM MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ○ ○ ○

1985 5 1 - 1985 7 31



N = 171

DEPTH 20 30 40 50 80 KM MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ○ ○ ○

1985 8 1 - 1985 10 31

(NAGOYA UNIV)

第2図 微小地震の分布 (1985年5月1日~1985年10月31日) 震源の深さが20kmより深いもの

Fig. 2 Epicenter distribution of earthquakes (May 1, 1985 - October 31, 1985) deeper than 20 km.